

# 奈良県川上村における移住支援と新しい関わりの創出の検討



## DATA

- 主な連携先・メンバー  
川上村役場 定住促進課 課長 杉本晃一氏／地域おこし協力隊 越智祐子氏
- 活動地域  
奈良県吉野郡川上村
- 活動期間  
2019年度
- 活動資金  
地域連携活動に対する補助事業

## 活動の目的

- 1 都市から山村の移住によって、人々の生活がどのように変化するのか調査を行う
- 2 異なる生活経験を持つ都市出身者を住民に迎えることで、山村がどのように変化するのか調査を行う



## 連携にいたる経緯

専門演習を担当する酒井が、地域おこし協力隊として川上村に居住する越智祐子氏と相談し、学生や村の住民を巻き込んで、居住の選択に関する調査を行うことを計画した。2019年4月に村役場定住促進課の職員と会合を持ち、連携を依頼し、調査を行うことになった。



## 活動内容

2019年6月に、川上村役場定住促進課の杉本氏と地域おこし協力隊の越智氏が酒井ゼミに来訪し、村の歴史や現状、産業、定住促進の取組みなどについてレクチャーを行い、学生と交流した。7月以降、学生たちは提供してもらった資料を参考に、自分達が村について知りたいことを検討し、質問項目のリストを作成。また、川上村に調査協力者を選定してもらい、調査の準備を進めた。9月には1泊2日で川上村を訪問し、8名の調査協力者へのインタビューや村役場の職員との交流と調査の報告、10月から11月にかけてはインタビューの書き起こしと分析を行い、他大学（神戸女学院大学・立教大学）との合同ゼミで結果を報告した。そこでは、ディスカッションを踏まえて各自が調査レポートを制作し、2020年2月に川上村で行われた地域おこし協力隊報告会の場に酒井と2名の学生が参加しポスター発表を行った。



## 活動の成果

- 1 移住者が村に新たな住民として加わっていく際に感じている問題点や要望を聞き取り、村に還元した
- 2 居住だけではない村との関わり方や関係人口（居住だけではなく村と関わる人々）が果たす役割を検討することができた
- 3 都市部に住む学生たちが自分達の日常と異なる山村の生活経験について、訪問前とは異なる視野を手にすることことができた

## 今後の課題・目標

- 1 都市部とは異なる山村部の豊かさを、経済、社会、文化の方面から考えていく
- 2 引き続き川上村での聞き取り調査を行い、林業の仕事や伝統文化について理解を深める
- 3 オンラインやリモートでの関わりは都市部と山村部の関係をどのように変えたのかという点について考えていく

### 教員紹介



社会学部 教授

酒井千絵  
Chie Sakai

社会学部では国際社会学を担当し、これまでの主な研究テーマは日本を離れて香港や上海で生活する人々への調査をとおして、グローバル化と人々の生活の変化を考察することにあった。ゼミの学生とともに川上村への移動を対象に調査を行うことで、国内での移住による異文化の出会いが生み出す社会のあり方へと関心を広げている。